





日本航空健康保険組合（JAL健保）様と婦人科検診受診率向上プロジェクト		取組開始時期	2015年3月	取組の カテゴリ	健康福祉
1. 団体名	株式会社ヘルスケアシステムズ	2. 連携先の 団体	大塚製薬様、日本航空健康保険組合（JAL健保）様		
3. 取組 目的	女性の婦人科検診の受診を上げて健康予防支援		4. 関連する ゴール	   	

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）



婦人科検診を受診するのが面倒だし時間がない



女性が長く働ける環境を整えたい。自身の健康状態を知ってほしい

方法

ステップ1: 興味喚起

ステップ2: 女性ホルモンの学習

ステップ3: 検診告知

ソイチェック希望者募集

ソイチェック&アンケート実施

結果通知

動画による教育

検診日程告知



JAL健保から女性社員先着1,000名募集



ソイチェック®と同時に生活習慣、婦人科検診、女性ホルモンのアンケート実施



ソイチェック®の結果通知の際に、女性ホルモンとエクオール®の冊子を同封



女性ホルモン、婦人科検診のDVDを社内イントラ従業員教育で放映



地域ごとの日程を分けて通知検診のイベント情報も添えた

(期間：2015年3月～2016年4月)



検査キットを購入

カラダチェック発注書にてFAXまたはメールでご発注ください



尿を採取

ご自宅にて、随時尿を採取



ポストへ投函

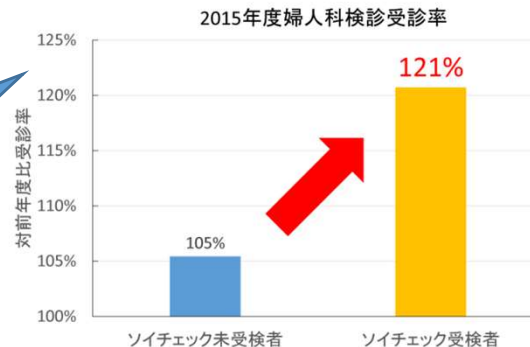
キット同梱の“返信封筒”に入れて、郵便ポストへ投函



測定後、結果送付

約1週間で郵便で結果が届きます

女性ホルモン
興味関心UP
リテラシーUP



ソイチェック®受検者では婦人科検診受診率が大幅に上昇した。

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

ゴール3: 男性だけではなく、女性特有の健康状態を理解し平等に健康へ
 ゴール4: 女性ホルモンの高度な知識提供
 ゴール5: 女性のライフステージを理解した上で、今まで男性が長く働くイメージだったが、女性も平等に働ける社会へ
 ゴール8: 女性が長く元気に働くために、セミナーから不安や知識不足の解消・予防へ

ステークホルダーとの連携

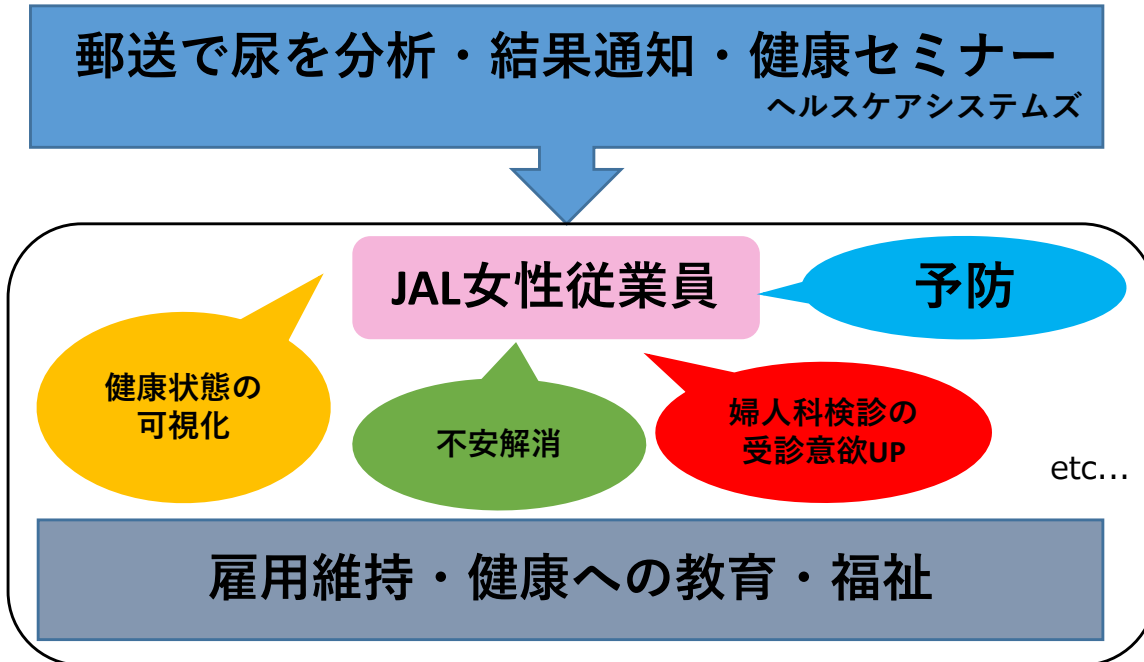
健康施策に「女性の健康」を掲げる日本航空の健康保険組合でエクオール検査「ソイチェック」を活用した乳がん検診受診率向上プログラムを実施。

モデル性・波及性

郵送検査を用いて、簡易的に尿を検査、結果を通知後、セミナーによる教育。
 <成果>
 受診者の婦人科検診受診率の伸び率を比較したところ前年比121%と未受検者が同105%に対して20%も上昇。

自由記述欄

・ステークホルダーとの連携体制図



・2030年までに目指すべきゴールイメージやありたい姿

**自身の健康状態を簡易的に知り、
確かな知識を提供することで、
楽しく健康に、長く元気に働ける社会を目指す。**

・取組に関連するホームページのURL

日本航空健康保険組合URL :

<https://jalkenpo.jp/mail/pc/index.php?year=2017&month=1&day=18&c=9>

ヘルスケアシステムズURL :

<https://hc-sys.com/case/case-15/>

尿中エクオール検査『ソイチェック®』を用いた、婦人科検診受診率向上への取り組み



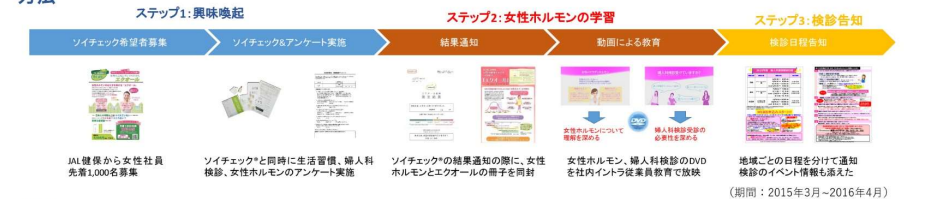
○細谷 吉勝¹、石川 大仁¹、瀧本 陽介¹、北野 祐子²、細川 圭輔²、浦井 典子³
株式会社ヘルスケアシステムズ、²大塚製薬株式会社、³日本航空健康保険組合

目的

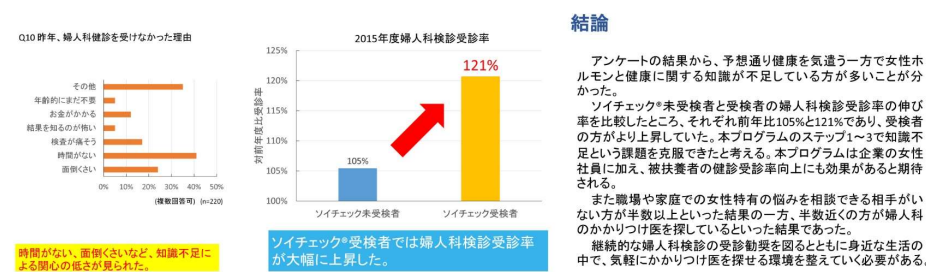
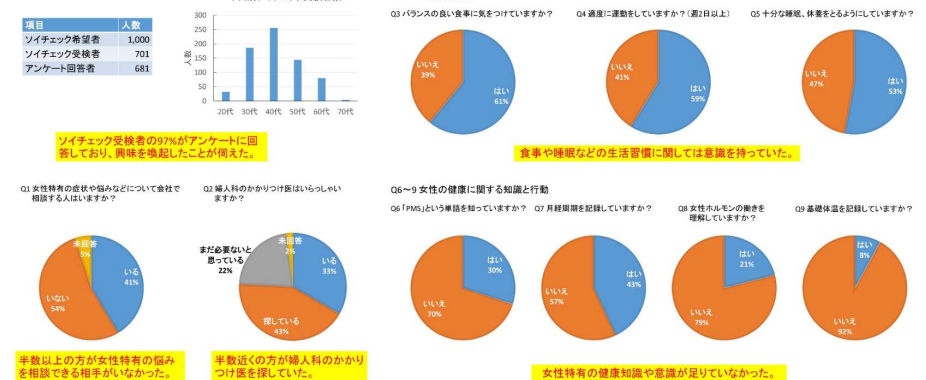
健康診断は、健康の維持や疾患の予防・早期発見に有効である。しかし、婦人科検診の受診率は低水準にとどまっている。原因としては、知識不足による関心の低さがあると考えた。そこで、本研究では、女性ホルモンと健康に関するリテラシー向上により検診受診率を増加できると考え、女性ホルモンと健康について学ぶきっかけ作りとして、尿中エクオール検査キット「ソイチェック®」を用いた受診率向上プログラムを実施した。
イソフラボン一種であるダイゼンは、特定の腸内細菌によりエストロゲン活性のより強いエクオールに代謝される。日本人の43%がエクオール産生能を持ち、ソイチェック®により産生能を調べることができる。身近な大豆食品の健康効果に個人差があることや、女性ホルモンと関連する機能性成分であるため、尿中エクオール検査を受けることにより、女性ホルモンと健康について学ぶ意欲が高まり、健康意識や婦人科検診の受診意欲を向上させることができると考えられた。



方法



結果



結論

アンケートの結果から、予想通り健康を気遣う一方で女性ホルモンと健康に関する知識が不足している方が多いことが分かった。
ソイチェック®未受検者と受検者の婦人科検診受診率の伸び率を比較したところ、それぞれ前年比105%と121%であり、受検者の方がより上昇していた。本プログラムのステップ1~3で知識不足という課題を克服できたと考えられる。本プログラムの企業的女性社員に加え、被扶養者の健診受診率向上にも効果があると期待される。
また職場や家庭での女性特有の悩みを相談できる相手がいない方が半数以上といった結果の一方、半数近くの方が婦人科のかかりつけ医を探しているといった結果であった。
継続的な婦人科検診の受診勧奨を促すとともに身近な生活の中で、気軽にかかりつけ医を探せる環境を整えていく必要がある。